

2019年度 履修の手引き

《人間健康学部人間健康学科 1年生》

【目次】

| | |
|---------------------------|-----|
| はじめに | 1 |
| 1. 進級と卒業 | 2 |
| (1) 進級制限 | |
| (2) 卒業までの流れ | |
| 2. 履修上の注意点 | 3~4 |
| (1) 単位制度 | |
| (2) 科目名および配当年次 | |
| (3) 授業科目群と科目区分 | |
| (4) 科目番号 | |
| (5) 履修登録単位数の上限 | |
| (6) 履修できない科目 | |
| 3. 履修登録に関するスケジュール | 5 |
| (1) 履修登録 | |
| (2) 履修登録の変更 | |
| (3) 履修登録の確認 | |
| (4) 履修登録の削除 | |
| 4. 入学前に修得した単位の認定制度について | 5 |
| 5. 検定試験取得級の単位認定について | 6 |
| 6. 入学後に他大学等で修得した単位の認定について | 6 |
| 7. GPA制度 | 7 |
| 8. 資格の取得 | 8~9 |
| 9. 科目制限 | 10 |
| 10. 履修モデルの活用方法 | 11 |

心理学を学びたい皆さんへ 公認心理師対応カリキュラムについて

教職課程

人間健康学部人間健康学科 卒業要件

人間健康学部人間健康学科 カリキュラム

カリキュラムは

学生用ページ→2019年度履修登録ページ→
所属学科の履修登録に必要な資料（カリキュラム表）に掲載

「履修の手引き」は後期履修ガイダンス時にも持参のこと

はじめに

この『履修の手引き』には、皆さんが履修登録に際して留意しなければならないこと、また卒業するまでの流れや資格の取得等に必要な単位をどのように修得すればよいかが記載されています。

各ページを確認し、内容を十分に理解した上で各手続きを行なってください。また、不明な点があれば、教務課または演習担当者までお問い合わせください。

(1) 履修登録を行なう前に

大学ではすべての結果が自分の責任になります。4年間の学修に関しても同じです。自分の時間割は、自分が受講したい科目を選択するなどして、自分自身で作成しなければなりません。さらに選んだ科目の登録手続き（履修登録）も自分で行ないます。配付される『シラバス』およびこの『履修の手引き』を参考にしながら自主的な学修計画を立ててください。

(2) 計画的な履修登録・学修を行なう理由

大学に4年間在学したら自動的に卒業できるわけではありません。本学での卒業要件単位（卒業するために必要な単位）は124単位です。この124単位はあくまでも最低限の単位数です。したがって、これを超えて履修することもできます。4年間大学に在学しても、この卒業要件単位数を下回る単位しか修得していない場合は、卒業できません。また、卒業要件単位を大幅に超える単位数を修得していたとしても、様々な条件をクリアしていない場合は卒業できません。4年間の学修を計画的に行なわなければ、就職先が内定していたとしても、単位不足のため卒業できない、ということが起こります。

(3) グリーンカードの活用

以下の表は、卒業や就職活動に向けて各学期で修得しておくべき単位数の目安を示したものです。ぜひ、グリーンゾーンの単位修得を目指してください。

| ランク | ゾーン | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 4年 残り単位数 | 備考 |
|-----|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-------------|-----------------|
| | | 前期末 | 後期末 | 前期末 | 後期末 | 前期末 | 後期末 | | |
| AA | ゾーンA グリーン | 19以上 | 38以上 | 57以上 | 76以上 | 95以上 | 114以上 | 10以下 | 自信を持って就職活動ができる |
| A | ゾーンB イエロー | 17~18 | 34~37 | 51~56 | 68~75 | 85~94 | 102~113 | 11~22 | 余裕を持って就職活動ができる |
| B | ゾーンC オレンジ | 15~16 | 30~33 | 45~50 | 60~67 | 75~84 | 90~101 | 23~34 | 就職活動がやや大変になる |
| C | ゾーンD レッド | 13~14 | 26~29 | 39~44 | 52~59 | 65~74 | 78~89 | 35~46 | 卒業に向けて努力が必要 |
| D | ゾーンE ブラック | 12以下 | 25以下 | 38以下 | 51以下 | 64以下 | 77以下 | 47以上 | このままでは卒業がきわめて困難 |

1. 進級と卒業

(1) 進級制限

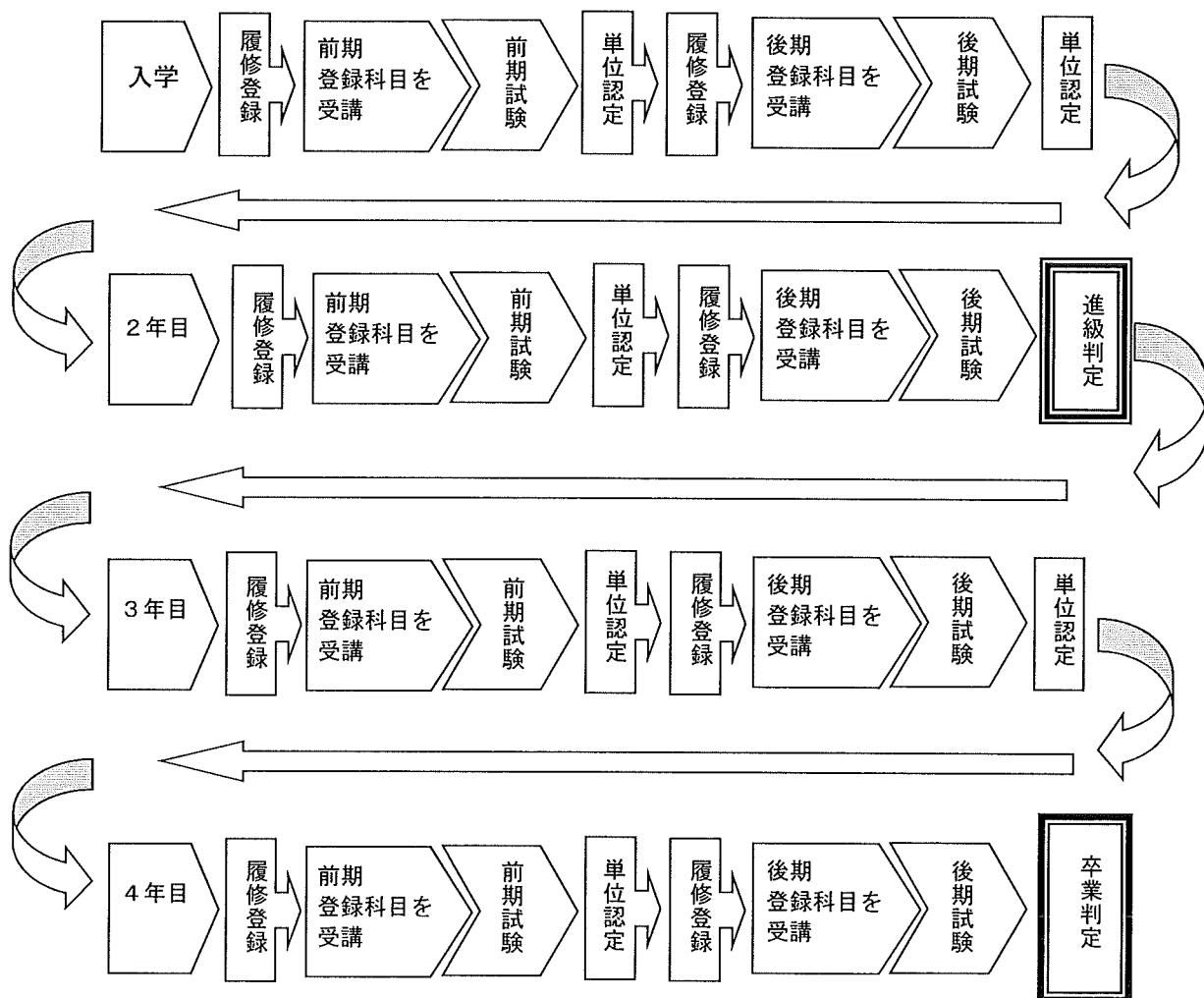
本学では、2年次から3年次への進級時に進級制限を設けています。以下の【進級の条件】を満たすことができなければ、原級留置（留年）となります（3年生に進級できません）。4年間で卒業するために、まずは3年生にスムーズに進級できるよう頑張りましょう。

【進級の条件】

2年次終了時点で修得単位数が40単位以上、かつ「基礎演習I」「基礎演習II」の単位を修得していること。

なお、修得単位数が30単位以上40単位未満で「基礎演習I」「基礎演習II」の単位を修得している学生は、教授会での審議を経て「仮進級」として進級を認められることがあります、仮進級した3年終了時の総修得単位数が50単位未満の場合は4年次に進級できません。

(2) 卒業までの流れ



2. 履修上の注意点

(1) 単位制度

単位制とは、一定の基準により単位が割りふられた授業科目を履修し、平素の学修状況および所定の試験またはレポートなどによる成績評価の結果、合格することによりその授業科目の単位を修得していく制度です。各授業科目の単位数は、『シラバス』のカリキュラム表に掲載されています。なお、同じ科目名でも入学年度によって単位数の異なる場合があるので、必ず自分の入学年度適用のカリキュラム表を参照してください。

(2) 科目名および配当年次

自分に適用されるカリキュラム表における開講科目の配当年次が、在籍学年より上級学年の科目は履修することができません。配当年次が、在籍学年および下級学年の開講科目は履修することができます。授業科目名が変更となっている場合、時間割にはそれぞれの入学年度適用カリキュラムの科目名が記載されています。

(3) 授業科目群と科目区分

授業科目は、「全学共通科目」と「専門科目」の2つの群からなっています。またそれぞれの科目は、次の3つのいずれかに区分されます。

必修科目：卒業するまでに必ず単位を修得しなければならない科目

選択必修科目：指定された科目の中から所定の単位を修得しなければならない科目

選択科目：上記以外の科目で、卒業に必要な単位として算定される科目

(4) 科目番号

各科目には、それぞれ記号がついています。学修段階や順序を示す番号を付けることで、カリキュラムの順次性や体系性が確認でき、体系的な履修を促すことを目的としています。科目番号の見方は以下のとおりです。

例：HH 1 1 0 1 = 人間学概論

| 科目的属性 (別表1 参照) | 科目的順次性 (別表2 参照) | カリキュラムにおける科目的位置づけ (別表3 参照) | 科目区分内での 通し番号 |
|-------------------|------------------------------|-------------------------------|---------------------|
| HH (人間健康学科) | 1 (1年次または1・2年次に配当されている科目) | 1 (基礎科目) | 0 1 (区分内の1番目の科目) |

この部分を見れば自分が履修可能か 1~4は番号が若いほどカリキュラム内で
どうか分かります。 1~4は番号が若いほどカリキュラム内で
コアとなる科目として位置づけられています。

<別表1> 科目の属性

| 記号 | 付加情報 | 記号 | 付加情報 |
|-----|----------------|-----|--------------|
| L A | 全学共通科目 | E C | 教育学部専門科目 |
| R B | 地域ビジネス学科専門科目 | T L | (中高)教職課程科目 |
| H H | 人間健康学科専門科目 | I B | 国際ビジネス学科専門科目 |
| E L | 国際ビジネス学科実践英語科目 | | |

<別表2> 科目の順次性

| 番号 | 付加情報 | 番号 | 付加情報 |
|----|-----------------------|----|-------------------|
| 1 | 1年次または1・2年次に配当されている科目 | 4 | 4年次に配当されている科目 |
| 2 | 2年次または2・3年次に配当されている科目 | 9 | 「海外研修A～C」「資格取得科目」 |
| 3 | 3年次または3・4年次に配当されている科目 | | |

<別表3> カリキュラムにおける各科目の位置づけ

(全学共通科目)

| 番号 | 付加情報 | 番号 | 付加情報 |
|----|---------|----|----------|
| 1 | 東邦基礎力科目 | 3 | スキル科目 |
| 2 | 教養科目 | 4 | キャリア支援科目 |

(専門科目)

| 番号 | 付加情報 | 番号 | 付加情報 |
|----|------|----|-------|
| 1 | 基礎科目 | 4 | 関連科目 |
| 2 | 基幹科目 | 8 | 実務科目 |
| 3 | 展開科目 | 9 | ゼミナール |

(5) 履修登録単位数の上限

本学科では、1～4年生について履修登録単位数の上限を前・後期それぞれ24単位としています。24単位を超えて履修登録することはできません。ただし、以下の場合は、この制限が適用されず履修登録をすることができます。

- ・集中講義科目を履修するとき
- ・教職課程科目（科目番号が「TL」で始まる科目）を履修するとき（課程登録をした学生のみ）

(6) 履修できない科目

異なるカリキュラムの科目や、他学部・他学科の科目（「他学部・他学科開放科目」は除く）は履修できません。また、単位を既に修得した科目を再度履修することはできません。同一名称で複数クラス開講されている科目は、授業担当教員や開講時限が異なっていても、重複して履修することはできません。

3. 履修登録に関するスケジュール

(1) 履修登録

履修登録はコンピュータを利用して行ないます。履修登録の時間は指定されていますので、ガイダンス日程表で確認してください。

(2) 履修登録の変更

以下の期間に履修登録の追加・取消をコンピュータで行なうことができます。ただし、変更が認められない科目もあります。TOPOS または掲示でお知らせしますので、必ず確認した上で変更してください。

| 期 間 | 時 間 | 場 所 |
|-------------------------|---------------|--------|
| 4月 8 日 (月) ~4月 12 日 (金) | 9 時~16 時 30 分 | L 棟 PC |

(3) 履修登録の確認

履修登録が正しく行なわれたかどうかを以下の期間に確認してください。掲示での連絡や履修登録結果の配付はしませんので、必ず TOPOS で確認してください。内容に誤りや不明な点があった場合は、必ず教務課に申し出てください。この確認期間中に申し出がない場合は、履修登録の手続きが全て正しく完了したものとみなします。

| 期 間 | 時 間 | 場 所 |
|--------------------------|---------------|-------|
| 4月 15 日 (月) ~4月 19 日 (金) | 9 時~16 時 30 分 | 教務課窓口 |

(4) 履修登録の削除

GPA 制度に付随して履修登録削除期間を設けています。履修を削除すると、履修登録単位数は減りますが、GPA の値は大きくなります。(GPA 制度 (3) GPA の計算方法を参照) 以下の期間に、必修科目以外の科目の履修登録の削除を認めます。ただし、一度削除した科目を復活することはできませんので、注意してください。集中講義は、5 回目の授業までは、履修登録の削除が行えます。また、やむを得ない理由により 10 回以上の出席が困難な状況と認められる場合も履修登録の削除が行えます。
※履修放棄した場合は、GPA 値を下げないために必ず「履修削除」を行ってください。

| 期 間 | 時 間 | 場 所 |
|--------------------------|---------------|-------|
| 4月 15 日 (月) ~5月 17 日 (金) | 9 時~16 時 30 分 | 教務課窓口 |

4. 入学前に修得した単位の認定制度について

「入学前に修得した単位の認定制度」とは、本学の 1 年生が入学前に他の大学または短期大学において単位修得した授業科目について、その科目に相当する授業科目が本学においても開講されている場合に、本学における授業科目の履修とみなして単位が認定される制度です。

(1) 申請手続き

単位認定を希望する学生は 4 月 12 日 (金) までに教務課まで申し出てください。ただし、申請した全科目が単位認定されるとは限りません。

(2) 単位認定

詳細については、教務課まで問い合わせてください。

5. 検定試験取得級の単位認定について

本学では、検定試験合格のための努力と成果を評価し、在学中に合格した検定級に相当する本学開設の科目の単位を認定します。検定試験合格を本学在学中の目標の一つとして掲げ、達成できるよう頑張ってください。検定試験合格のための努力は必ず皆さんの自信につながることでしょう。

<対象となる検定試験>

単位認定の対象となる検定試験および認定科目は愛知東邦大学学生用ページの規程のとおりです。この一覧表にある検定試験のみ単位認定を行ないますので、検定試験の種類を確認の上、申請手続きをしてください。

<申請方法>

本学所定の申請書に必要事項を記入して、「検定試験合格証書」または「合格通知」のコピーを申請書に添付し、教務課へ提出してください。また、同一の検定で複数の級を取得している場合は、取得した最も上位の級にて手続きを行なってください。

<検定取得級の認定範囲>

各種検定試験で上位級を取得している場合は、その級の単位を認定するとともに同一検定試験の下位級の単位も同時に認定されます。

<申請期間>

各種検定試験合格発表後1ヶ月以内です。この期間以降は申請しても単位認定はされません。希望者は必ず期間内に手続きしてください。

<認定科目の単位修得学期>

認定された単位は、その検定試験の実施日を基準にして、本学における前期または後期の修得単位とします。

6. 入学後に他大学等で修得した単位の認定について

愛知県単位互換事業開放科目（愛知県内の四年制大学）および科目等履修生開放科目（その他の大学）で修得した単位が、本学の単位として認定される場合があります。

ただし、愛知県単位互換事業開放科目の履修は、2年生以上が対象となります。

(1) 当該科目に相当する科目が本学で開講されている場合

〈単位認定可否〉 本学の科目に読み替えて単位が認定されます。認定された単位は卒業要件に含まれます。

〈認定単位数〉 最大60単位を上限として認定します。

(2) 当該科目に相当する科目が本学で開講されていない場合で、かつ、本学の教育課程（カリキュラム）を補完し、本学の教育課程の幅を広げるのに有益な科目の場合

〈単位認定可否〉 他大学の科目名をもって本学の「全学共通科目」または「専門科目」として単位が認定されます。認定された単位は卒業要件に含まれます。

〈認定単位数〉 最大14単位を上限として認定します。

7. GPA 制度

GPA (Grade Point Average) 制度とは、科目ごとの成績評価を点数にかえて、全履修科目の平均を算出するものです。GPA によって自分の学修成果を自分自身で把握することができるメリットがあり、本学では科目の履修にあたって、ただ卒業するのに必要な単位を修得するのではなく、学生が主体的にかつ充実した学修成果をあげることを目的としてこの制度を導入しています。また、GPA は学内の様々な選考の指標となり、場合によっては、履修指導や退学勧告を受けることがありますので、自分の GPA を常に意識し、学修計画を立ててください。

(1) GPA 制度による成績評価

| 素点 | 評価 | GP |
|------------|-----|-----|
| 90 点～100 点 | A + | 4 点 |
| 80 点～89 点 | A | 3 点 |
| 70 点～79 点 | B | 2 点 |
| 60 点～69 点 | C | 1 点 |
| 0 点～59 点 | D | 0 点 |
| 欠席・棄権 | K | 0 点 |
| 失格 | S | 0 点 |

(2) GPA 制度の対象科目

【対象となる科目】

履修登録した全科目（教職課程登録者は、教職関係科目を含む）

【対象とならない科目】

評価を示さず、認定によって単位を修得した科目

(3) GPA の計算方法

【GPA の計算方法】

(履修登録単位数×GP) の合計／履修登録単位数の合計=GPA

【運用例】

| 科目名 | 履修登録単位数 (a) | 素点 | 評価 | GP(b) | a×b |
|-------|----------------|----|----|-------|-----|
| 基礎演習I | 2 | 90 | A+ | 4 | 8 |
| ●●学 | 2 | 70 | B | 2 | 4 |
| ●●論 | 2 | 50 | D | 0 | 0 |
| ●●演習 | 1 | 80 | A | 3 | 3 |
| ●●論 | 2 | 欠席 | K | 0 | 0 |
| 合計 | 9 | | | | 15 |
| 平均 | | | | | 1.7 |

上記太枠が、GPA となります。

8. 資格の取得

本学は、さまざまな民間資格の認定校となっています。以下の資格取得を目指す場合、申請や所定の科目の単位を修得することが必要になりますので、よく読んでください。1年次で修得すべき科目がある資格は（1）～（4）の通りです。

（1）CSCS（NSCA認定ストレングス＆コンディショニングスペシャリスト）

CSCSとは、「認定ストレングス＆コンディショニングスペシャリスト」という名前のとおり、ストレングス（筋力）トレーニング、コンディショニングに関するスペシャリスト（専門職）を認定する資格です。

〈資格申請条件〉

資格取得に必要な科目の全ての単位を修得または、修得予定の学生であり、かつ、4年制大学卒業（見込み）以上であることが出願条件となっている「NSCA ジャパン認定校特別認定試験」（以下、特別認定試験）に合格することが条件です。また、特別認定試験受験年度の6月30日までに NSCA ジャパンの学生会員として入会していなければいけません。さらに、CPR & AED 資格を事前に取得しておく必要があります。

〈資格取得に必要な科目〉（19科目）

解剖学、生理学、救急処置法、運動生理学、栄養学、エクササイズ指導方法論、トレーニング科学、バイオメカニクス、統計学/心理統計学、トレーニング実習、プログラムデザイン、フィットネステスト・評価、ストレングス・コンディショニング実習、健康スポーツ心理学、スポーツマネジメント、コーチング論、スポーツ医学、基礎アスレチックトレーニング、アスレチックトレーニング実習 *下線科目は推奨科目

〈資格申請方法〉

特別認定試験合格後、本学の卒業証明書を提出することで資格を取得できます。

〈費用〉

¥49,800（特別認定試験受験料：¥39,000、学生会員年会費：¥10,800）受験者数によって受験料は変更になります。*2016年4月からコンピュータベース試験（CBT）に移行しました。

（2）公認心理師

本学では、2019年度から公認心理師の受験資格に対応するカリキュラムを開始しました。公認心理師とは、公認心理師法に規定された国家資格で、公認心理師の名称を用いて、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、心理的支援を必要とする人の心理状態の分析や相談・助言等、関係者への相談・助言等、心の健康の知識の普及等を行う者の資格です。

〈資格申請条件〉

本学を卒業しただけでは公認心理師の資格は得ることはできません。公認心理師の資格を得るために、1. 大学で資格取得に必要な科目全ての単位を修得し卒業。 2. 大学院で資格取得に必要な科目全ての単位を習得し修了（または、法で規定される施設での一定期間以上の実務経験を積む） 3. 1と2により「受験資格」を得て、公認心理師の国家試験を合格することで登録申請を行うことができます。

〈資格取得に必要な科目〉（本学では26科目）

公認心理師の職責、心理学概論、臨床心理学概論、心理学研究法、心理学統計法、心理学実験Ⅰ、心理学実験Ⅱ、知覚・認知心理学、学習・言語心理学、感情・人格心理学、神経・生理心理学、社会・集団・家族心理学、発達心理学、障害者（児）心理学、心理的アセスメント、心理学の支援法、健康・医療心理学、福祉心理学、教育心理学（教育・学校心理学）、司法・犯罪心理学、産業・組織心理学、健康管理論（人体の構造と機能及び疾病）、精神疾患とその治療、関係行政論、心理演習、心理実習

*詳細は補足資料「心理を学びたいみなさんへ（1年生）裏面：公認心理師対応カリキュラムについて」を参照

(3) ピアヘルパー

ピアヘルパーとは、カウンセリングや関連する心理学の理論方法について学習し、教育・福祉・保育などの実際場面で人とかかわるために必要な基本的な力を身につけたことを証明する資格です。

<資格申請条件>

本学で実施する試験（毎年1回、12月から2月頃）を受験し、かつ資格取得に必要な下記の3科目6単位を修得または、修得見込みの学生

<資格要件科目>（以下の科目から3科目6単位を修得）

心の健康・心の病、心理学概論、発達心理学、精神疾患とその治療、臨床心理学概論、教育心理学（教育・学校心理学）、心理学的支援法、心理演習

<資格申請方法>

試験に合格し、資格申請用件科目を修得した学生は、日本教育カウンセラー協会から認定書が交付されます。

<費用>

¥4,800（受験料）

(4) 健康管理士一般指導員

健康管理士一般指導員とは、健康管理、予防医学全般にわたって広く学習し、栄養、メンタルヘルス、運動などの正しい知識に基づいて、たくさんの人々へ健康指導をし、アドバイスを行っていく資格です。

<資格申請条件>

資格取得に必要な下記の科目の単位を取得し、本学で実施する認定試験に合格すること。

<資格要件科目>合計9科目

健康科学概論、医療概論、運動生理学、救急処置法、栄養学、衛生学、健康管理論、環境保健論、看護学

<資格申請方法>

認定試験（3年後期終了時に実施予定）合格後、日本成人病予防協会より認定書が送付されます。

<費用>

¥16,000（受験料：¥5,000、登録料：¥11,000）

注）テキスト、日本成人病予防協会発行『健康管理士一般指導員テキスト1～6』（養成校指定専用教材）、6冊を1年次に一括購入する。（テキスト：¥5,000）

これらの他にも、2年生以降に履修する科目が要件となっているものとして次の資格があります。

- ・**レクリエーションインストラクター**： 地域、学校、企業などでレクリエーションの指導を行う専門家を認定する資格です。
- ・**キャンプインストラクター**： 総合的な自然体験である「キャンプ」の指導者として、キャンプの楽しさを多くの人に伝えられることを証明する資格です。
- ・**障がい者スポーツ指導員（初級）**： 障害を抱えた人が体を鍛えたり、スポーツを楽しんだりするのをサポートするため、障害に応じた適切な指導ができるなどを証明する資格です。

9.科目制限

履修する上で、他の科目の単位修得が前提になっている科目がありますので、計画的にかつ慎重に履修科目を決定してください。
太字科目を履修するには、細字科目の単位がすべて取れている必要があります。ただし、1年ずらしての履修も可能です。

| 科 目 名 | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 4年 | |
|-----------------------|-----------|---------------------------|----------------------------------|----|------------|---------------|-------------------------------------|----|
| | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| ・入門コンピュータ | ・基礎コンピュータ | ・トレーニング科学 ・統計学(心理学統計法) | ・心理学統計法 (または統計学) | | | | ・フィットネステスト・評価 | |
| ・解剖生理学 I ・解剖生理学 II | | | ・スポーツ医学 | | | | | |
| ・解剖生理学 I ・解剖生理学 II | | | ・急救処置法 | | | | ・基礎アスレチックトレーニング ・アスレチックトレーニング・実習 | |
| ・解剖生理学 I ・解剖生理学 II | | | ・運動生理学 ・トレーニング・科学 ・パフォーマンス | | | | | |
| ・解剖生理学 I ・解剖生理学 II | | | ・トレーニング・科学 | | ・トレーニング・実習 | | | |
| ・解剖生理学 I ・解剖生理学 II | | | ・トレーニング・科学 | | ・トレーニング・実習 | | ・フット・ラグ・サイン ・ストレッジ・スコット・ショニング・実習 | |
| | | | | | | ・カウンセリング・基礎演習 | | |
| | | | | | | ・カウンセリング・基礎演習 | ・心理演習 | |
| | | | | | | | | |

10. 履修モデルの活用方法

次ページ以降に掲載されている9通りの「履修モデル」の中から、自分の希望や目標、将来就職したい分野に関連のあるモデルを1つ選び、自分自身の4年間の学修計画を立てるときの参考にしてください。「履修モデル」以外の目標や、卒業後の進路を考えている人は、まず目標を明確にし、それに役立ちそうな科目を選んで自分なりの履修計画を立てましょう。

(1) 保健体育教員コース【A-1】

スポーツ、健康、福祉、心理の幅広い知識を学び、人とつながり協力し合える保健体育の教員を目指す人のための履修モデルです。

(2) スポーツトレーナーコース【B-1】

(3) スポーツトレーナーコース+教職履修モデル【B-2】

公共または民間のスポーツセンターやフィットネスジムで健康増進活動業務に従事することを目標とする人のための履修モデルです。【B-2】はこれに並行して中学・高校の保健体育教師を目指す人のための履修モデルです。

(4) スポーツ指導者コース【C-1】

(5) スポーツ指導者コース+教職履修モデル【C-2】

地域スポーツや公共及び民間のスポーツセンターで子供から大人や高齢者などに対して、幅広いスポーツ指導をすることを目標とする人、地域の子供から大人、高齢者や障害者に対して、健康づくりの指導や支援をすることを目標とする人のための履修モデルです。【C-2】はこれに並行して中学・高校の保健体育教師を目指す人のための履修モデルです。

(6) 心理コース【D-1】

(7) 心理コース+教職履修モデル【D-2】

公務員の心理職、医療関連施設、社会福祉施設、一般企業の事務管理部門で、心理学の知識を生かして働くことを目的とする人のための履修モデルです。【D-2】はこれに並行して中学・高校の保健体育教師を目指す人のための履修モデルです。

(8) 地域防災コース【E-1】

(9) 地域防災コース+教職履修モデル【E-2】

福祉の視点を大切にし、地域、学校、企業等の防災・減災の支援をするための幅広い知識と技術を学ぶ人のための履修モデルです。【E-2】はこれに並行して中学・高校の保健体育教師を目指す人のための履修モデルです。

保健体育教員コース 履修モデル【A】

【A】スポーツ、健康、福祉、心理の幅広い知識を学び、人とながり協力し合える保健体育の教員を目指す

| | | 1年次(2019年度) | | 2年次(2020年度) | | 3年次(2021年度) | | 4年次(2022年度) | | 修得単位数 |
|----------------------------|----------------------|---------------------------|----|------------------|----|---------------------------|----|-------------------------|----|---------------------------|
| | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | |
| 全 学 共 通 科 目 | 東邦基礎力 科目 | 基礎演習Ⅰ | 2 | 基礎演習Ⅱ | 2 | 総合演習Ⅰ | 2 | 総合演習Ⅱ | 2 | |
| | 教養科目 | 健康スポーツ実習 | 2 | (健康スポーツ実習) 憲法 | 2 | | | | | |
| | コミュニケーション科目 スキル科目 | 外国語 | 2 | 外国語 | 2 | | | | | |
| | コンピュータ リテラシー科目 | 入門コンピュータ | 2 | | | | | | | |
| | キャリア科目 | | | | | | | | | |
| | 資格取得科目 | | | | | | | | | |
| | 単位小計 | 8 | 6 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 /32 |
| 専 門 科 目 | 基礎 科目 | 人間学概論 | 2 | 社会福祉概論 | 2 | | | | | |
| | | 教育学概論 | 2 | | | | | | | |
| | 基 幹 科 目 | 解剖生理学Ⅰ | 2 | スポーツ原理 | 2 | 環境保健論 | 2 | 学習・言語心理学 | 2 | |
| | | 解剖生理学Ⅱ | 2 | | | | | | | |
| | | 教育心理学 (教育・学校心理学) | 2 | | | | | | | |
| | | 児童家庭福祉論 | 2 | | | | | | | |
| | 展 開 科 目 | 専門スポーツ実習(器械運動) | 1 | 小児保健論 | 2 | スポーツ社会学 | 2 | 専門スポーツ実習(水泳) | 1 | |
| | | | | 専門スポーツ実習(陸上競技) | 2 | スポーツ心理学 | 2 | 専門スポーツ実習(ダンス) | 1 | |
| | | | | | | スポーツマネジメント | 2 | 専門スポーツ実習(球技) | 2 | |
| | | | | | | 専門スポーツ実習(剣道) | 1 | 衛生学 | 2 | |
| | ゼミナール | 運動生理学 | 2 | | | 運動生理学 | 2 | トレーニング実習 | 1 | |
| | | 救急処置法 | 2 | | | 救急処置法 | 2 | | 1 | |
| | | トレーニング科学 | 2 | | | トレーニング科学 | 2 | | | |
| | | バイオメカニクス | 2 | | | バイオメカニクス | 2 | | | |
| | | 野外運動論 | 2 | | | 野外運動論 | 2 | | | |
| | | 総合野外活動実習 Ⅰ※1 (キャンプ) | 1 | | | 総合野外活動実習 Ⅰ※1 (キャンプ) | 1 | 総合野外活動実習 Ⅱ※1 (登山) | 1 | |
| | 単位小計 | 13 | 8 | 20 | 10 | 8 | 5 | 2 | 6 | 72 /84 |
| 履修単位数合計 | | 21 | 14 | 22 | 12 | 8 | 5 | 2 | 6 | 90 /124 |
| 教職に関する科目 | | 教職概論(中・高) | 2 | 教育課程論 | 2 | 特別支援教育論 (中・高) | 2 | 保健体育教育法Ⅰ | 4 | 保健体育教育法Ⅱ |
| | | | | 総合的な学習の時間の指導法 | 2 | 道徳教育の指導法 | 2 | 教育の制度と経営 | 2 | 特別活動の指導法 |
| | | | | | | 教育方法論(中・高) | 2 | 生徒指導論(中・高) | 1 | |
| | | | | | | 進路指導論(中・高) | 1 | | 4 | 教育実習Ⅰ(中・高)(教育実習Ⅱ(高等学校))※2 |
| 教職科目単位数合計 | | 0 | 2 | 4 | 6 | 8 | 6 | 6 | 2 | 34 |

*1: 総合野外活動実習Ⅰ～Ⅲは3科目中1科目を選択 / *2: 教育実習Ⅱは2週間の実習の場合適用

スポーツトレーナーコース 履修モデル【B-1】

【B-1】 公共または民間のスポーツセンターやフィットネスジムで健康増進活動業務に従事することを目標とする人のための履修モデル

| | 学年 | 1年次(2019年度) | | 2年次(2020年度) | | 3年次(2021年度) | | 4年次(2022年度) | | 修得単位数 |
|---------|----------------|-------------|----|---|----------------------------|--|-----------------------|---|------------------|--|
| | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | |
| 全学共通科目 | 東邦基礎力科目 | 基礎演習Ⅰ | 2 | 基礎演習Ⅱ | 2 | 総合演習Ⅰ | 2 | 総合演習Ⅱ | 2 | |
| | 教養科目 | | | 統計学 | 2 | | | | | |
| | コミュニケーションスキル科目 | 外国語 | 2 | 外国語 | 2 | | | | | |
| | コンピュータリテラシー科目 | 入門コンピュータ | 2 | 基礎コンピュータ | 2 | | | | | |
| | キャリア科目 | | | | | | | | | |
| | 資格取得科目 | | | | | | | | | |
| 単位小計 | | 6 | 6 | 4 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 /32 |
| 専門科目 | 基礎科目 | 人間学概論 | 2 | | | | | | | |
| | 基礎科目 | 解剖生理学Ⅰ | 2 | | | | | | | |
| | 基礎科目 | 解剖生理学Ⅱ | 2 | | | | | | | |
| | 展開科目 | | | 運動生理学 救急処置法 トレーニング科学 バイオメカニクス スポーツ心理学 スポーツマネジメント | 2 2 2 2 2 2 | エクササイズ指導方法論 スポーツ医学 トレーニング実習 栄養学 心理学統計法 | 2 2 1 2 2 | プログラムデザイン ストレングス・コンディショニング実習 コーチング論 アスレチックトレーニング実習 | 2 1 2 1 | 基礎アスレチックトレーニング フィットネステスト・評価 アスレチックトレーニング実習 |
| | ゼミナール | | | | | 専門演習Ⅰ | 2 | 専門演習Ⅱ | 2 | 専門演習Ⅲ |
| | ゼミナール | | | | | | | | 2 | 専門演習Ⅳ 卒業研究 |
| 単位小計 | | 6 | 0 | 12 | 9 | 7 | 7 | 7 | 2 | 6 /49 /84 |
| 履修単位数合計 | | 12 | 6 | 16 | 11 | 7 | 7 | 7 | 2 | 6 /67 /124 |

* NSCA認定ストレングス＆コンディショニングスペシャリスト(CSCS) 資格に関する科目

必須科目（12科目）：解剖生理学Ⅰ、解剖生理学Ⅱ、救急処置法、運動生理学、栄養学、エクササイズ指導方法論、トレーニング科学、バイオメカニクス、トレーニング実習、プログラムデザイン、フィットネステスト・評価、ストレングス・コンディショニング実習、選択科目（7科目）：健康スポーツ心理学、統計学/心理学統計法、スポーツマネジメント、コーチング論、スポーツ医学、基礎アスレチックトレーニング、アスレチックトレーニング実習

スポーツトレーナーコース+ 教職履修モデル【B-2】

【B-2】中学・高校の保健体育教師を目指す人のための履修モデルと公共または民間のスポーツセンターやフィットネスジムで健康増進活動業務に従事することを目標とする人のための履修モデル

| | | 1年次(2019年度) | | 2年次(2020年度) | | 3年次(2021年度) | | 4年次(2022年度) | | 修得単位数 |
|-----------|----------------------|--------------------------|----|------------------|----|--------------------------|----|-------------------------|----|---------------------------|
| | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | |
| 全学共通科目 | 東邦基礎力科目 | 基礎演習Ⅰ | 2 | 基礎演習Ⅱ | 2 | 総合演習Ⅰ | 2 | 総合演習Ⅱ | 2 | |
| | 教養科目 | 健康スポーツ実習 | 2 | (健康スポーツ実習) 憲法 | 2 | 統計学 | 2 | | | |
| | コミュニケーション科目 スキル科目 | 外国語 | 2 | 外国語 | 2 | | | | | |
| | コンピュータリテラシー科目 | 入門コンピュータ | 2 | 基礎コンピュータ | 2 | | | | | |
| | キャリア科目 | | | | | | | | | |
| | 資格取得科目 | | | | | | | | | |
| | 単位小計 | 6 | 8 | 4 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 22 /32 |
| 専門科目 | 基礎科目 | 人間学概論 | 2 | 社会福祉概論 | 2 | | | | | |
| | | 教育学概論 | 2 | | | | | | | |
| | 基礎科目 | 解剖生理学Ⅰ | 2 | 入水−原理 | 2 | 環境保健論 | 2 | | | |
| | | 解剖生理学Ⅱ | 2 | | | | | | | |
| | | 教育心理学 (教育・学校心理学) | 2 | | | | | | | |
| | 展開科目 | 専門スポーツ実習(器械運動) | 1 | 小児保健論 | 2 | 運動生理学 | 2 | エクササイズ指導方法論 | 2 | |
| | | 専門スポーツ実習(陸上競技) | 2 | 救急処置法 | 2 | スポーツ医学 | 2 | プログラムデザイン | 2 | |
| | | トレーニング科学 | 2 | トレーニング実習 | 1 | ストレングス・コンディショニング実習 | 1 | フィットネステスト・評価 | 2 | |
| | | バイオメカニクス | 2 | 専門スポーツ実習(水泳) | 1 | コーチング論 | 2 | アスレチックトレーニング実習 | 1 | |
| | | スポーツ社会学 | 2 | 専門スポーツ実習(ダンス) | 1 | 教育相談(中・高) | 2 | 学校保健 | 2 | |
| | ゼミナール | スポーツマネジメント | 2 | 栄養学 | 2 | 専門スポーツ実習(柔道) | 1 | 専門スポーツ実習(柔道) | 2 | |
| | | スポーツ心理学 | 2 | 衛生学 | 2 | 野外運動論 | 2 | 専門野外活動実習 | 1 | |
| | | 専門スポーツ実習(剣道) | 1 | 心理学統計法 | 2 | 総合野外活動実習 ※1 (キャンプ) | 1 | 総合野外活動実習 ※1 (マリン) | 1 | |
| | | 野外運動論 | 2 | | | | | | | |
| | | 総合野外活動実習 ※1 (キャンプ) | 1 | | | | | | | |
| | | 総合野外活動実習 ※1 (スキー) | 1 | | | | | | | |
| | 単位小計 | 11 | 8 | 20 | 14 | 11 | 11 | 2 | 6 | 83 /84 |
| 履修単位数合計 | | 19 | 16 | 24 | 16 | 11 | 11 | 2 | 6 | 105 /124 |
| 教職に関する科目 | | 教職概論(中・高) | 2 | 教育課程論 | 2 | 特別支援教育論(中・高) | 2 | 保健体育教育法Ⅰ | 4 | 保健体育教育法Ⅱ |
| | | 総合的な学習の時間の指導法 | 2 | 道徳教育の指導法 | 2 | 教育の制度と経営 | 2 | 特別活動の指導法 | 4 | 教育実習事前及び事後の指導(中・高) |
| | | 教育方法論(中・高) | 2 | 生徒指導論(中・高) | 1 | 進路指導論(中・高) | 1 | | 4 | 教育実習Ⅰ(中・高)(教育実習Ⅱ(高等学校))※2 |
| 教職科目単位数合計 | | 0 | 2 | 4 | 6 | 8 | 6 | 6 | 2 | 34 |

*1: 総合野外活動実習Ⅰ～Ⅲは3科目中1科目を選択 / *2: 教育実習Ⅱは2週間の実習の場合適用

* NSCA認定ストレングス＆コンディショニング＆シャリスト(CSCS)資格に関する科目
必須科目(12科目)：解剖生理学Ⅰ、解剖生理学Ⅱ、救急処置法、運動生理学、栄養学、エクササイズ指導方法論、トレーニング科学、バイオメカニクス、トレーニング実習、プログラムデザイン、フィットネステスト・評価、ストレングス・コンディショニング実習、選択科目(7科目)：健康スポーツ心理学、統計学/心理学統計法、スポーツマネジメント、コーチング論、スポーツ医学、基礎アスレチックトレーニング、アスレチックトレーニング実習

スポーツ指導者コース 履修モデル【C-1】

【C-1】地域スポーツや公共及び民間のスポーツセンターで子供から大人や高齢者などに対して、幅広いスポーツ指導をすることを目標とする人、地域の子供から大人、高齢者や障害者に対して、健康づくりの指導や支援することを目標とする人のための履修モデル

| | | 1年次(2019年度) | | 2年次(2020年度) | | 3年次(2021年度) | | 4年次(2022年度) | | 修得単位数 |
|-------------------------|-------------------------------|-------------|----------|-------------|-----------------|---------------------|-----------------|-------------|------------|---------|
| | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | |
| 東邦基礎力 科目 | 基礎演習Ⅰ | 2 | 基礎演習Ⅱ | 2 | 総合演習Ⅰ | 2 | 総合演習Ⅱ | 2 | | |
| | | | | | | | | | | |
| 教養科目 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 全学共通科 目 スキル科 目 | コミュニケーション科目 外国語 | 2 | 外国語 | 2 | | | | | | |
| | コンピュータリテラシー科 目 入門コンピュータ | 2 | | | | | | | | |
| キャリア科目 | キャリア基礎Ⅰ | 2 | キャリア基礎Ⅱ | 2 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 資格取得科 目 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 単位小計 | | 8 | 6 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 /32 |
| 基礎科 目 | 人間学概論 | 2 | 健康科学概論 | 2 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 基幹科 目 | 解剖生理学Ⅰ | 2 | | 環境保健論 | 2 | 健康管理論（人体の構造と機能及び疾病） | 2 | | | |
| | 解剖生理学Ⅱ | 2 | | | | | | | | |
| 専門科 目 | 医療概論 | 2 | 障害者スポーツ論 | 2 | 野外運動論 | 2 | 栄養学 | 2 | レクリエーション論 | 1 |
| | | | | | 運動生理学 | 2 | 衛生学 | 2 | | |
| 展開科 目 | | | | | 救急処置法 | 2 | 「ナトリトレーニング」演習 | 2 | レクリエーション実技 | 1 |
| | | | | | 総合野外活動実習Ⅰ(キャンプ) | 1 | 総合野外活動実習Ⅱ※1(スキ) | 1 | 看護学 | 2 |
| ゼミナール | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| 単位小計 | | 8 | 4 | 9 | 9 | 5 | 5 | 2 | 2 | 48 /84 |
| 修得単位数合計 | 16 | 10 | 11 | 11 | 5 | 5 | 5 | 2 | 6 | 66 /124 |

* キャンプインストラクター資格要件科目(1科目):総合野外活動実習Ⅰ

* レクリエーションインストラクター資格要件科目(4科目):レクリエーション論、総合野外活動実習Ⅰ、レクリエーション実技、(レクリエーションインターンシップ:外部機関での受講が必要)

* 健康管理士資格要件科目(9科目):健康科学概論、医療概論、運動生理学、健康管理論、環境保健論、救急処置法、衛生学、栄養学、看護学

スポーツ指導者コース+ 教職履修モデル【C-2】

【C-2】 中学・高校の保健体育教師を目指す人のための履修モデルと地域スポーツや公共及び民間のスポーツセンターで子供から大人や高齢者などに対して、幅広いスポーツ指導をすることを目標とする人、地域の子供から大人、高齢者や障害者に対して、健康づくりの指導や支援することを目標とする人のための履修モデル

| | | 1年次(2019年度) | | 2年次(2020年度) | | 3年次(2021年度) | | 4年次(2022年度) | | 修得単位数 |
|-----------------|---------------|---------------------------|------------|--------------------------|------------|--------------------------------|------------|-------------------------------|---------------------------|-----------|
| | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | |
| | 東邦基礎力科目 | 基礎演習Ⅰ | 2 | 基礎演習Ⅱ | 2 | 総合演習Ⅰ | 2 | 総合演習Ⅱ | 2 | |
| | 教養科目 | 健康スポーツ実習 | 2 | (健康スポーツ実習) 憲法 | 2 | | | | | |
| 全学共通科目 スキル科目 | コミュニケーション科目 | 外国語 | 2 | 外国語 | 2 | | | | | |
| | コンピュータリテラシー科目 | 入門コンピュータ | 2 | | | | | | | |
| | キャリア科目 | | | | | | | | | |
| | 資格取得科目 | | | | | | | | | |
| | 単位小計 | 8 | 6 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 18 /32 |
| 専門科目 | 基礎科目 | 人間学概論 | 2 | 社会福祉概論 | 2 | | | | | |
| | | 教育学概論 | 2 | 健康科学概論 | 2 | | | | | |
| | 基幹科目 | 解剖生理学Ⅰ | 2 | スポーツ原理 | 2 | 環境保健論 | 2 | 健康管理論(人体の構造と機能及び疾病) | 2 | |
| | | 解剖生理学Ⅱ | 2 | | | | | | | |
| | | 教育心理学 (教育・学校心理学) | 2 | | | | | | | |
| | 展開科目 | 専門スポーツ実習(器械運動) | 1 | 障害者スポーツ論 | 2 | 野外運動論 | 2 | 衛生学 | 2 | レクリエーション論 |
| | | 医療概論 | 2 | 小児保健論 | 2 | スポーツ社会学 | 2 | 栄養学 | 2 | 教育相談(中・高) |
| | | | | 専門スポーツ実習(陸上競技) | 2 | スポーツマネジメント | 2 | メンタルトレーニング演習 | 2 | 学校保健 |
| | | | | | | 専門スポーツ実習(剣道) | 1 | 専門スポーツ実習(柔道) | 1 | 看護学 |
| | | | | | | 運動生理学 | 2 | 専門スポーツ実習(ダンス) | 1 | |
| | ゼミナール | 救急処置法 | 2 | トレーニング科学 | 2 | 救急処置法 | 2 | 専門スポーツ実習(球技) | 2 | |
| | | バイオメカニクス | 2 | トレーニング科学 | 2 | バイオメカニクス | 2 | 専門スポーツ実習 | 1 | |
| | | 総合野外活動実習 I※1 (キャンプ) | 1 | 総合野外活動実習 II※1 (スキ) | 1 | 総合野外活動実習 III※1 (アドベンチャー) | 1 | 総合野外活動実習 IV※1 (アドベンチャー) | 1 | |
| | | 単位小計 | 13 | 12 | 18 | 14 | 8 | 7 | 2 | 6 80 /84 |
| | 履修単位数合計 | 21 | 18 | 20 | 16 | 8 | 7 | 2 | 6 | 98 /124 |
| 教職に関する科目 | | 教職概論(中・高) | 2 | 教育課程論 | 2 | 特別支援教育論(中・高) | 2 | 保健体育教育法Ⅰ | 4 | 保健体育教育法Ⅱ |
| | | | | 総合的な学習の時間の指導法 | 2 | 道德教育の指導法 | 2 | 教育の制度と経営 | 2 | 特別活動の指導法 |
| 教職科目単位数合計 | | | 教育方法論(中・高) | 2 | 生徒指導論(中・高) | 1 | 進路指導論(中・高) | 1 | 教育実習事前及び事後の指導(中・高) | 2 |
| | | | | | | | | | 教育実習Ⅰ(中・高)(教育実習Ⅱ(高等学校))※2 | 4 |

*1 : 総合野外活動実習 I ~ IIIは3科目中1科目を選択 / *2 : 教育実習 IIは2週間の実習の場合適用

* キャンプインストラクター資格要件科目(1科目) : 総合野外活動実習 I

* レクリエーションインストラクター資格要件科目(4科目) : レクリエーション論、総合野外活動実習 I、レクリエーション実技、(レクリエーションインターナーシップ:外部機関での受講が必要)

* 健康管理士資格要件科目(9科目) : 健康科学概論、医療概論、運動生理学、健康管理論、環境保健論、救急処置法、衛生学、栄養学、看護学

心理コース 履修モデル【D-1】

【D-1】公務員の心理職、医療関連施設、社会福祉施設、一般企業の事務管理部門で、心理学の知識を生かして働くことを目的とする人のための履修モデル

| | 東邦基礎力科目 | 1年次(2019年度) | | 2年次(2020年度) | | 3年次(2021年度) | | 4年次(2022年度) | | 修得単位数 |
|---------|----------------------|-----------------|-------|-------------|-------|-------------|-------|---------------------|----|---------|
| | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | |
| 全学共通科目 | 基礎演習Ⅰ | 2 | 基礎演習Ⅱ | 2 | 総合演習Ⅰ | 2 | 総合演習Ⅱ | 2 | | |
| | 教養科目 | | | | | | | | | |
| | コミュニケーション科目 スキル科目 | 外国語 | 2 | 外国語 | 2 | | | | | |
| | コンピュータリテラシー科目 | 入門コンピュータ | 2 | | | | | | | |
| | キャリア科目 | キャリア基礎Ⅰ | 2 | キャリア基礎Ⅱ | 2 | | | | | |
| | 資格取得科目 | | | | | | | | | |
| 単位小計 | | 8 | | 6 | | 2 | | 0 | 0 | 0 |
| 専門科目 | 基礎科目 | 人間学概論 | 2 | | | | | | | |
| | | 心理学概論 | 2 | | | | | | | |
| | 基礎科目 | 教育心理学(教育・学校心理学) | 2 | 社会・集団・家族心理学 | 2 | 発達心理学 | 2 | 学習・言語心理学 | 2 | |
| | | | | | | | | 健康管理論(人体の構造と機能及び疾病) | 2 | |
| | 展開科目 | 司法・犯罪心理学 | 2 | 産業・組織心理学 | 2 | 公認心理師の職責 | 2 | 心理学実験Ⅱ | 2 | |
| | | 健康・医療心理学 | 2 | 知覚・認知心理学 | 2 | 感情・人格心理学 | 2 | 神経・生理心理学 | 2 | |
| ゼミナール | | 臨床心理学概論 | 2 | 心理学の支援法 | 2 | 心理学実験Ⅰ | 2 | 関係行政論 | 2 | |
| 単位小計 | | 8 | | 6 | | 10 | | 12 | | 10 |
| 履修単位数合計 | | 16 | | 12 | | 12 | | 14 | | 10 |
| | | | | | | | | | | 4 |
| | | | | | | | | | | 6 |
| | | | | | | | | | | 66 /84 |
| | | | | | | | | | | 84 /124 |

公認心理師資格取得に関連する科目： 公認心理師の職責、心理学概論、臨床心理学概論、心理学研究法、心理学統計法、心理学実験、知覚・認知心理学、学習・言語心理学、感情・人格心理学、神経・生理心理学、社会・集団・家族心理学、発達心理学、障害者(児)心理学、心理的アセスメント、心理学の支援法、健康・医療心理学、福祉心理学、教育心理学(教育・学校心理学)、司法・犯罪心理学、産業・組織心理学、健康管理論(人体の構造と機能及び疾病)、精神疾患とその治療、関係行政論、心理演習、心理実習

心理コース+教職履修 履修モデル【D-2】

【D-2】中学・高校の保健体育教師を目指す人のための履修モデルと公務員の心理職、医療関連施設、社会福祉施設、一般企業の事務管理部門で、心理学の知識を生かして働くことを目的とする人のための履修モデル

| | 修得単位数 | 1年次(2019年度) | | | | 2年次(2020年度) | | | | 3年次(2021年度) | | | | 4年次(2022年度) | | | | |
|-----------|---------|----------------------|----------|-----------------------|----|----------------------|----|-----------------------|----|----------------------|----|-----------|----|---------------------------|----|--------|----------|--|
| | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | | |
| 全学共通科目 | 東邦基礎力科目 | 基礎演習Ⅰ | 2 | 基礎演習Ⅱ | 2 | 総合演習Ⅰ | 2 | 総合演習Ⅱ | 2 | | | | | | | | | |
| | | | | 憲法 | 2 | | | | | | | | | | | | | |
| | 教養科目 | | | 健康スポーツ実習 | 2 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 外国語 | 2 | 外国語 | 2 | | | | | | | | | | | | | |
| | スキル科目 | コミュニケーション科目 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | コンピュータリテラシー科目 | 入門コンピュータ | 2 | | | | | | | | | | | | | | |
| 専門科目 | キャリア科目 | キャリア基礎Ⅰ | 2 | キャリア基礎Ⅱ | 2 | | | | | | | | | | | | | |
| | 資格取得科目 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 単位小計 | | 8 | | 10 | | 2 | | 2 | 0 | | 0 | | 0 | 0 | 22 /32 | | |
| | 基礎科目 | 人間学概論 | 2 | 社会福祉概論 | 2 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 心理学概論 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 基幹科目 | 教育学概論 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 教育心理学 (教育・学校心理学) | 2 | 社会・集団・家族心理学 | 2 | 発達心理学 | 2 | 学習・言語心理学 | 2 | | | | | | | | | |
| | 展開科目 | 解剖生理学Ⅰ | 2 | | | | | 健康管理論(人体の構造と機能及び疾病) | 2 | | | | | | | | | |
| | | 解剖生理学Ⅱ | 2 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ゼミナール | 司法・犯罪心理学 | 2 | 産業・組織心理学 | 2 | 公認心理師の職責 | 2 | 心理学実験Ⅱ | 2 | 神経・生理心理学 | 2 | 心理的アセスメント | 2 | 心理実習(80時間以上) | 2 | | | |
| | | 専門スポーツ実習(器械運動) | 1 | 健康・医療心理学 | 2 | 知覚・認知心理学 | 2 | 感情・人格心理学 | 2 | 関係行政論 | 2 | 心理学研究法 | 2 | | | | | |
| | | 小児保健論 | 2 | 臨床心理学概論 | 2 | 心理学的支援法 | 2 | 障害者(児)心理学 | 2 | 心理演習 | 2 | | | | | | | |
| | | 専門スポーツ実習(陸上競技) | 2 | 心理学実験Ⅰ | 2 | 心理学統計法 | 2 | 福祉心理学 | 2 | 精神疾患とその治療 | 2 | | | | | | | |
| | | スポーツ心理学 | 2 | 専門スポーツ実習(水泳) | 1 | 教育相談(中・高) | 1 | 教育相談(中・高) | 2 | 学校保健 | 2 | | | | | | | |
| | | 専門スポーツ実習(剣道) | 1 | 専門スポーツ実習(柔道) | 1 | 専門スポーツ実習(柔道) | 1 | 専門スポーツ実習(柔道) | 1 | レクリエーション実技 | 1 | | | | | | | |
| | | 運動生理学 | 2 | 専門スポーツ実習(球技) | 2 | 救急処置法 | 2 | 衛生学 | 2 | コーチング論 | 2 | | | | | | | |
| | | 救急処置法 | 2 | トレーニング科学 | 2 | トレーニング実習 | 1 | | | | | | | | | | | |
| | | アサート | 2 | 総合野外活動実習Ⅰ※1 (キャンプ) | 1 | 総合野外活動実習Ⅲ※1 (スキー) | 1 | 総合野外活動実習Ⅰ※1 (キャンプ) | 1 | 総合野外活動実習Ⅱ※1 (マリン) | 1 | | | | | | | |
| | | 総合野外活動実習Ⅲ※1 (スキー) | 1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 単位小計 | | 15 | | 12 | | 22 | | 20 | | 16 | | 13 | | 4 | 6 | 108 /84 | |
| 履修単位数合計 | | | 23 | | 22 | | 24 | | 22 | | 16 | | 13 | | 4 | 6 | 130 /124 | |
| 教職に関する科目 | | | | 教職概論(中・高) | 2 | 教育課程論 | 2 | 特別支援教育論(中・高) | 2 | 保健体育教育法Ⅰ | 4 | 保健体育教育法Ⅱ | 4 | 教育実習事前及び事後の指導(中・高) | 2 | 教職実践演習 | 2 | |
| 教職科目単位数合計 | | | | | | 総合的な学習の時間の指導法 | 2 | 道徳教育の指導法 | 2 | 教育の制度と経営 | 2 | 特別活動の指導法 | 2 | 教育実習Ⅰ(中・高)(教育実習Ⅱ(高等学校))※2 | 4 | | | |
| | | | | | | 教育方法論(中・高) | 2 | 生徒指導論(中・高) | 1 | | | | | | | | | |
| | | | | | | 進路指導論(中・高) | 1 | | | | | | | | | | | |

※1：総合野外活動実習Ⅰ～Ⅲは3科目中1科目を選択 / ※2：教育実習Ⅱは2週間の実習の場合適用
公認心理師資格取得に関連する科目：公認心理師の職責、心理学概論、臨床心理学概論、心理学研究法、心理学統計法、心理学実験、知覚・認知心理学、学習・言語心理学、感情・人格心理学、神経・生理心理学、社会・集団・家族心理学、発達心理学、障害者(児)心理学、心理的アセスメント、心理学的支援法、健康・医療心理学、福祉心理学、教育心理学(教育・学校心理学)、司法・犯罪心理学、産業・組織心理学、健康管理論(人体の構造と機能及び疾病)、精神疾患とその治療、関係行政論、心理演習、心理実習

地域防災コース 履修モデル【E-1】

【E-1】 福祉の視点を大切にし、地域、学校、企業等の防災・減災の支援をするための幅広い知識と技術を学ぶ人のための履修モデル

| 全 学 共 通 科 目 | 東邦基礎力 科目 | 1年次（2019年度） | | 2年次（2020年度） | | 3年次（2021年度） | | 4年次（2022年度） | | 修得単位数 | | | |
|-------------------|-------------|------------------------------|----------|------------------|----|------------------------|----|------------------------------|----|----------------------------|---|------------------|-----------|
| | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | | | |
| | | 基礎演習Ⅰ | 2 | 基礎演習Ⅱ | 2 | 総合演習Ⅰ | 2 | 総合演習Ⅱ | 2 | | | | |
| 全 学 共 通 科 目 | 教養科目 | | | | | | | | | | | | |
| | コミュニケーション科目 | 外国語 | 2 | 外国語 | 2 | | | | | | | | |
| | スキル科目 | コミュニケーション科目 コンピュータリテラシー科目 | 入門コンピュータ | 2 | | | | | | | | | |
| | キャリア科目 | キャリア基礎Ⅰ | 2 | キャリア基礎Ⅱ | 2 | | | | | | | | |
| | 資格取得科目 | | | | | | | | | | | | |
| 単位小計 | | 8 | | 6 | | 2 | | 0 | | 0 18 /32 | | | |
| 専 門 科 目 | 基礎科目 | 人間学概論 | 2 | 社会福祉概論 | 2 | | | | | | | | |
| | 基幹科目 | 児童家庭福祉論 | 2 | | | 社会保障論 | 2 | | | | | | |
| | 展開科目 | 医療概論 | 2 | 災害と健康 保健福祉行政論 | 2 | 地域防災論 人と防災 救急処置法 | 2 | 公的扶助論 社会福祉援助技術論 障害者福祉論 | 2 | 関係行政論 障害者(児)心理学 看護概説 | 2 | 看護学 精神疾患とその治療 | 2 |
| | ゼミナール | | | | | 総合野外活動実習Ⅰ(キャンプ) | 1 | 地域福祉論 | 2 | 福祉心理学 | 2 | | |
| | 単位小計 | 6 | | 6 | | 7 | | 10 | | 10 | 6 | 2 | 6 53 /84 |
| 履修単位数合計 | | 14 | | 12 | | 9 | | 12 | | 10 | 6 | 2 | 6 71 /124 |

地域防災コース+教職履修 履修モデル【E-2】

【E-2】中学・高校の保健体育教師を目指す人のための履修モデルと福祉の視点を大切にし、地域、学校、企業等の防災・減災の支援をするための幅広い知識と技術を学ぶ人のための履修モデル

| | 1年次(2019年度) | | | | 2年次(2020年度) | | | | 3年次(2021年度) | | | | 4年次(2022年度) | | | | 修得単位数 |
|-----------|----------------------|-----------------------|----|-----------------------|-------------|----------------------|----|---------------------|-------------|------------|----|--------------------|-------------|--------|----|-------|----------|
| | 前期 | | 後期 | | 前期 | | 後期 | | 前期 | | 後期 | | 前期 | | 後期 | | |
| 全学共通科目 | 東邦基礎力科目 | 基礎演習Ⅰ | 2 | 基礎演習Ⅱ | 2 | 総合演習Ⅰ | 2 | 総合演習Ⅱ | 2 | | | | | | | | |
| | 教養科目 | 健康スポーツ実習 | 2 | (健康スポーツ実習) 憲法 | 2 | | | | | | | | | | | | |
| | コミュニケーション科目 スキル科目 | 外国語 | 2 | 外国語 | 2 | | | | | | | | | | | | |
| | コンピュータリテラシー科目 | 入門コンピュータ | 2 | | | | | | | | | | | | | | |
| | キャリア科目 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 資格取得科目 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 単位小計 | | 8 | | 6 | | 2 | | 2 | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 18 /32 |
| | 基礎科目 | 人間学概論 | 2 | 社会福祉概論 | 2 | | | | | | | | | | | | |
| | | 教育学概論 | 2 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 基礎科目 | 児童家庭福祉論 | 2 | 入スポーツ原理 | 2 | 環境保健論 | 2 | 社会保障論 | 2 | | | | | | | | |
| 専門科目 | 展開科目 | 解剖生理学Ⅰ | 2 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 解剖生理学Ⅱ | 2 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 教育心理学 (教育・学校心理学) | 2 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 医療概論 | 2 | 災害と健康 | 2 | 地域防災論 | 2 | 公的扶助論 | 2 | 関係行政論 | 2 | 看護学 | 2 | | | | |
| | | 専門スポーツ実習(器械運動) | 1 | 保健福祉行政論 | 2 | 人と防災 | 2 | 社会福祉援助技術論 | 2 | 障害者(児)心理学 | 2 | 精神疾患とその治療 | 2 | | | | |
| | | 小児保健論 | 2 | スポーツ社会学 | 2 | 障害者福祉論 | 2 | 養護概説 | 2 | 学校保健 | 2 | | | | | | |
| | | 専門スポーツ実習(陸上競技) | 2 | スポーツマネジメント | 2 | 地域福祉論 | 2 | 福祉心理学 | 2 | レクリエーション実技 | 1 | | | | | | |
| | | 専門スポーツ実習(剣道) | 1 | 専門スポーツ実習(水泳) | 1 | 教育相談(中・高) | 2 | | | | | | | | | | |
| | | 運動生理学 | 2 | 専門スポーツ実習(ダンス) | 1 | 専門スポーツ実習(柔道) | 1 | 専門スポーツ実習(柔道) | 1 | コーシング論 | 2 | | | | | | |
| | | 救急処置法 | 1 | 専門スポーツ実習(球技) | 2 | 衛生学 | 2 | | | | | | | | | | |
| | セミナー | トレーニング科学 | 2 | バイオメカニクス | 1 | トレーニング実習 | 1 | | | | | | | | | | |
| | | 野外活動論 | 2 | 総合野外活動実習Ⅰ※1 (キャンプ) | 1 | 総合野外活動実習Ⅲ※1 (スキー) | 1 | 総合野外活動実習Ⅱ※1 (登山) | 1 | 専門演習Ⅰ | 2 | 専門演習Ⅱ | 2 | 専門演習Ⅲ | 2 | 専門演習Ⅳ | 2 |
| | | 総合野外活動実習Ⅰ※1 (キャンプ) | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 単位小計 | | 15 | | 12 | | 20 | | 18 | | 16 | | 9 | | 2 | | 6 98 /84 |
| 履修単位数合計 | | 23 | | 18 | | 22 | | 20 | | 16 | | 9 | | 2 | | 6 | 116 /124 |
| 教職に関する科目 | | 教職概論(中・高) | 2 | 教育課程論 | 2 | 特別支援教育論(中・高) | 2 | 保健体育教育法Ⅰ | 4 | 保健体育教育法Ⅱ | 4 | 教育実習事前及び事後の指導(中・高) | 2 | 教職実践演習 | 2 | | |
| | | 総合的な学習の時間の指導法 | 2 | 道徳教育の指導法 | 2 | 教育の制度と経営 | 2 | 特別活動の指導法 | 2 | | | | | | | | |
| | | 教育方法論(中・高) | 2 | 生徒指導論(中・高) | 1 | | | | | | | | | | | | |
| | | 進路指導論(中・高) | 1 | | | | | | | | | | | | | | |
| 教職科目単位数合計 | | 0 | | 2 | | 4 | | 6 | | 8 | | 6 | | 6 | | 2 | 34 |

*1: 総合野外活動実習Ⅰ～Ⅲは3科目中1科目を選択 / *2: 教育実習Ⅱは2週間の実習の場合適用

心理学を学びたい皆さんへ（1年生）

人間健康学科

1. 将来、心理系の仕事に就きたい学生

公認心理師の資格取得に向けカリキュラムに対応した科目を修得していきましょう。指定科目は全部で26科目と多いため、計画的な授業の履修と単位が必要です。

なお、4年制大学で対応カリキュラムの指定科目を全て修得し卒業するだけでは、公認心理師の資格は取得できません。

*詳細は裏面を参照してください。

2. 将来、保健体育の教員、トレーナー、民間企業の社員等になりたいが心理の資格も取得しておきたい人

公認心理師の資格取得は上記1. にあるように最低でも7年間（大学4年間+指定機関での実務経験2~3年あるいは大学院2年間+国家試験受験1年間）がかかるもので容易には取得できません。ただ、本学在学中に大学4年間での指定単位と他の資格取得を両立することは可能です。将来、心理系の仕事に就く可能性がある場合は、1. と同様に計画的に履修する必要がありますので、裏面を参照してください。

3. カウンセリング等に興味があって大学においても実践したい人

ピアヘルパーの資格を取得し、大学で実践活動をしてみましょう。

4. 心理の仕事をしたいと思わないが、自分のこころを見つめ直してみたい人

もちろん心理系の科目の履修は自由です（一部、履修条件・定員等の制限があります）。シラバスをよく読んで興味のある心理の科目を履修してください。

＜心理関連の資格取得について＞

公認心理師：

心理の国家資格です。4年制大学で指定科目を修得して卒業するだけでは国家試験を受験することはできません。詳細は裏面に記載していますので、関心のある学生はよく読んでください。

ピアヘルパー：

指定科目の中から3科目をする必要があります。履修の手引き参照。

3科目が未修得でも受験することは可能ですが、正式に合格となるのは指定科目が履修できてるからです。

1年生で履修できる科目は公認心理師と同じです。認定試験は毎年12, 1月頃、本学で実施しますが、2年生後期開講予定の「心理学的支援法」を履修してからの方がしやすいです。

公認心理師対応カリキュラムについて

本学では、2019年度から公認心理師の受験資格に対するカリキュラムを実施します。

公認心理師とは、公認心理師登録簿への登録を受け、公認心理師の名称を用いて、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、次に掲げる行為を行うことを業とする者をいいます。

- ① 心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析
- ② 心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助
- ③ 心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助
- ④ 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供

<公認心理師資格を取得する方法>

厚生労働省 Web ページ『公認心理師 4 受験資格等 受験資格取得方法』より

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000116049.html>

本学人間健康学部で指定科目全 26 科目（心理学実験は I・II の 2 科目）を修得し卒業。

- 区分 A： 公認心理師カリキュラムに対応した大学院に入学し、指定科目を修得し修了。
区分 B： 公認心理師法施行規則で定める施設で一定期間以上の実務経験を積む。
→ 「公認心理師試験の受験資格」を取得。
→ 「国家試験：公認心理師試験」を受験し合格。その後登録申請を行う

| 学年 | 1 年生～ | 2 年生～ | 3 年生～ |
|----------------|--|--|--|
| 前期 開講 予定 | ②心理学概論 ⑯教育心理学（教育・学校心理学） ⑯司法・犯罪心理学 | ①公認心理師の職責 ③臨床心理学概論 ⑦知覚・認知心理学 ⑫発達心理学 ⑥心理学実験 I | ⑩神経・生理心理学 ⑬障害者（児）心理学 ⑭福祉心理学 ⑮関係行政論 |
| 後期 開講 予定 | ⑪社会・集団・家族心理学 ⑯健康・医療心理学 ⑰産業・組織心理学 | ⑤心理学統計法 ⑥心理学実験 II ⑧学習・言語心理学 ⑨感情・人格心理学 ⑮心理学的支援法 ⑯健康管理論（人体の構造と機能及び疾病） | ④心理学研究法 ⑭心理的アセスメント ⑯精神疾患とその治療 ⑰心理演習 |
| 現場 実習 | 4 年生 前期 ⑯心理実習（病院等での現場実習） ・定員：15 名（下記の実習資格全てを満たし、GPA の上位から最大 15 名） ・実習資格： 1) 卒業に必要な単位数の内、3 年終了までに 100 単位以上の単位をしていること 2) 3 年終了時に全科目平均 GPA2.0 以上であること 3) 「心理学的支援法」及び「心理演習」の単位をしていること | | |

※上記の科目番号は、『公認心理師法第 7 条第 1 号及び第 2 号に規定する公認心理師となるために必要な科目』に対応しています。

教職課程

(1) 教職課程科目

本学で中学校・高等学校教諭（保健体育）の免許状を取得するには、次表の①～④を修得しなければなりません。

| 科目区分 | 中学校教諭一種免許状 | 高等学校教諭一種免許状 |
|--------------------------------|------------|-------------|
| 教科及び教科の指導法に関する科目 …① | 38 単位以上 | 38 単位以上 |
| 教育の基礎的理解に関する科目等 …② | 32 単位以上 | 28 単位以上 |
| 大学が独自に設定する科目 …③ | 2 単位以上 | 2 単位以上 |
| 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目 …④ | 8 単位 | 8 単位 |
| 合 計 | 80 単位以上 | 76 単位以上 |
| うち卒業要件に含まれないもの | 34 単位 | 30 単位 |

① 教科及び教科の指導法に関する科目 【表 A 参照】

教科（保健体育）の内容に関する専門的知識やその指導法を修得するための科目です。
人間健康学科の専門科目の一部がそれに該当します。

② 教育の基礎的理解に関する科目等 【表 B 参照】

学校教育に関する広範囲の専門知識（教科内容以外）を修得するための科目です。

③ 大学が独自に設定する科目 【表 C 参照】

「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目等」のどちらにも該当しませんが、教職課程の科目としてふさわしいと思われる科目が各大学独自に設定されています。

④ 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目 【表 D 参照】

日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション、情報機器の操作に関する科目です。

(2) 履修上の注意

- 以下に示す科目は、人間健康学科の卒業要件（卒業に必要な 124 単位）には含まれません。学科の卒業要件とは別に、追加で単位を修得する必要があります。

卒業要件に含まれない科目

- 【表 A】：「保健体育教育法Ⅰ」「保健体育教育法Ⅱ」
- 【表 B】：以下の 3 科目を除く全て
「教育学概論」「教育心理学（教育・学校心理学）」「教育相談」
- 【表 C】：「道徳教育の指導法（中学校）」

※ これらの科目は各学期の履修登録の上限（24 単位）の適用外となり、24 単位を超えて履修することができます。

(3) 教職課程科目一覧

【表A：教科及び教科の指導法に関する科目】

| 免許法施行規則に定める科目区分 | 本学における免許状修得に必要な最低修得単位数 | 本学における科目名 | 教職課程における必修・選択の別 | 単位数 | 配当年次 | 開講期 |
|--------------------------------|--|----------------|-----------------|-----|------|-----|
| 教科に関する専門的事項 | 「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学」及び運動学(運動方法学を含む。) | 総合野外活動実習Ⅰ | 選必 ※1 | 1 | 2 | 前期 |
| | | 総合野外活動実習Ⅱ | 選必 ※1 | 1 | 2 | 前期 |
| | | 総合野外活動実習Ⅲ | 選必 ※1 | 1 | 2 | 後期 |
| | | トレーニング実習 | 必修 | 1 | 2 | 後期 |
| | | レクリエーション実技 | 選択 | 1 | 3 | 後期 |
| | | 専門スポーツ実習(器械運動) | 必修 | 1 | 1 | 前期 |
| | | 専門スポーツ実習(陸上競技) | 必修 | 2 | 1 | 後期 |
| | | 専門スポーツ実習(水泳) | 必修 | 1 | 2 | 後期 |
| | | 専門スポーツ実習(球技) | 必修 | 2 | 2 | 後期 |
| | | 専門スポーツ実習(剣道) | 選必 ※2 | 1 | 2 | 前期 |
| | | 専門スポーツ実習(柔道) | 選必 ※2 | 1 | 3 | 前期 |
| | | 専門スポーツ実習(ダンス) | 必修 | 1 | 2 | 後期 |
| | | スポーツ原理 | 選必 ※3 | 2 | 1 | 後期 |
| スポーツ心理学 | 選必 ※3 | 2 | 2 | 前期 | | |
| スポーツマネジメント | 選必 ※3 | 2 | 2 | 前期 | | |
| スポーツ社会学 | 選必 ※3 | 2 | 2 | 前期 | | |
| バイオメカニクス | 必修 | 2 | 2 | 前期 | | |
| トレーニング科学 | 必修 | 2 | 2 | 前期 | | |
| 野外運動論 | 選択 | 2 | 2 | 前期 | | |
| コーチング論 | 選択 | 2 | 3 | 前期 | | |
| 解剖生理学Ⅰ | 必修 | 2 | 1 | 前期 | | |
| 運動生理学 | 必修 | 2 | 2 | 前期 | | |
| 解剖生理学Ⅱ | 必修 | 2 | 1 | 前期 | | |
| 衛生学 | 必修 | 2 | 2 | 後期 | | |
| 環境保健論 | 選択 | 2 | 2 | 前期 | | |
| 学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。) | | 学校保健 | 必修 | 2 | 3 | 後期 |
| | | 小児保健論 | 必修 | 2 | 1 | 後期 |
| | | 救急処置法 | 必修 | 2 | 2 | 前期 |
| 各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む) | | 保健体育教育法Ⅰ | 必修 | 4 | 3 | 前期 |
| | | 保健体育教育法Ⅱ | 必修 | 4 | 3 | 後期 |

※1 総合野外活動実習Ⅰ～Ⅲは3科目中1科目を選択

※2 専門スポーツ実習(剣道)と専門スポーツ実習(柔道)は2科目中1科目選択必修

※3 スポーツ原理、健康スポーツ心理学、スポーツマネジメント、スポーツ社会学は4科目中1科目選択必修

【表B：教育の基礎的理解に関する科目等】

| 免許法施行規則に定める 科目区分 | 本学における免許 状取得に必要な最 低修得単 位数 | 本学における科目名 | 単 位 数 | 必修 選択 | 配 当 年 次 | 開講期 | 備考 | |
|-------------------------------------|------------------------------------|---|-------------|----------|------------------|------|--------|--|
| 教育の基礎理論に関する科目 | 12 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 | 2 | 必修 | 1 | 前期 | | |
| | | 教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。） | | 必修 | 1 | 後期 | | |
| | | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） | | 必修 | 3 | 前期 | | |
| | | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 | | 必修 | 1 | 前期 | | |
| | | 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 | | 必修 | 2 | 後期 | | |
| | | 教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。） | | 必修 | 2 | 前期 | | |
| | | 道徳の理論及び指導法 | | 必修 | 2 | 後期 | 中一種免のみ | |
| 道徳・総合的な学習の時間に関する指導法及び生徒指導の時間に関する指導法 | 中一種免：12 高一種免：10 | 総合的な学習の時間の指導法 | 2 | 必修 | 2 | 前期 | | |
| | | 特別活動の指導法 | | 必修 | 3 | 後期 | | |
| | | 教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。） | | 必修 | 2 | 後期 | | |
| | | 生徒指導の理論及び方法 | | 必修 | 3 | 前期 | | |
| | | 教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 | | 必修 | 3 | 前期 | | |
| | | 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 | | 必修 | 3 | 前期 | | |
| | | 教育実習 | 2 | 必修 | 4 | 前期 | | |
| 教育実践に関する科目 | 中一種免：6 高一種免：4 | 教育実習 I (中・高) | | 必修 | 4 | 前・後期 | ※ | |
| | | 教育実習 II (高等学校) | | 選択 | 4 | 前・後期 | | |
| | | 教職実践演習 | | 必修 | 4 | 後期 | | |
| 合計 | | 中学校教諭（保健体育） | ： 32 | | | | | |
| | | 高等学校教諭（保健体育） | ： 28 | | | | | |

※ 「中一種」免は「教育実習 I」が必修
「高一種」免の場合は「教育実習 I」または「教育実習 II」の選択必修

【表 C : 大学が独自に設定する科目】

| 免許法施行規則に定める科目区分 | 本学における免許状修得に必要な最低修得単位数 | 本学における科目名 | 単位数 | 教職課程における必修または選択の別 | 配当年次 | 開講期 | 備考 |
|-----------------|------------------------|---------------|-----|-------------------|------|-----|--------|
| 大学が独自に設定する科目 | 2 | 社会福祉概論 | 2 | 必修 | 1 | 後期 | |
| | | 道徳教育の指導法(中学校) | 2 | 選択 | 2 | 後期 | 高一種免のみ |

【表 D : 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目】

| 免許法施行規則に定める科目区分 | 本学における免許状修得に必要な最低修得単位数 | 本学における科目名 | 単位数 | 教職課程における必修または選択の別 | 配当年次 | 開講期 |
|-----------------|------------------------|----------------------|-----|-------------------|-------|------|
| 日本国憲法 | 2 | 憲法 | 2 | 必修 | 1・2 | 前・後期 |
| 体育 | 2 | 健康・スポーツ実習 | 2 | 必修 | 1・2 | 前・後期 |
| 外国語コミュニケーション | 2 | 英語基礎 I B | 1 | 2 科目選択必修 | 1 | 前期 |
| | | 英語基礎 II B | 1 | | 1 | 後期 |
| | | 英語 I B | 1 | | 1 | 前期 |
| | | 英語 II B | 1 | | 1 | 後期 |
| | | 英語 III | 1 | | 2・3・4 | 前期 |
| | | 英語 IV | 1 | | 2・3・4 | 後期 |
| | | 英語オーラルコミュニケーション I B | 1 | | 1 | 前期 |
| | | 英語オーラルコミュニケーション II B | 1 | | 1 | 後期 |
| | | 中国語総合 I | 1 | | 1・2 | 前・後期 |
| | | 中国語総合 II | 1 | | 1・2 | 後期 |
| | | 中国語オーラルコミュニケーション I | 1 | | 1・2 | 前・後期 |
| | | 中国語オーラルコミュニケーション II | 1 | | 1・2 | 後期 |
| | | 中国語オーラルコミュニケーション III | 1 | | 2・3・4 | 後期 |
| | | 中国語ライティング | 1 | | 2・3・4 | 前期 |
| | | 韓国語総合 I | 1 | | 1・2 | 前期 |
| | | 韓国語総合 II | 1 | | 1・2 | 後期 |
| | | 韓国語オーラルコミュニケーション I | 1 | | 1・2 | 前期 |
| | | 韓国語オーラルコミュニケーション II | 1 | | 1・2 | 後期 |
| 情報機器の操作 | 2 | 入門コンピュータ | 2 | 必修 | 1 | 前期 |

人間健康学部人間健康学科 卒業要件

<2019年度入学生適用>

| 授業科目群 | | 必修 | 選択必修 | 選択 | 卒業要件単位数 |
|----------------------------|----------|-------------|------|------------|---------|
| 全 学 共 通 科 目 | 東邦基礎力科目 | 8単位 | - | 20単位 以上 | 32単位以上 |
| | 教養科目 | - | - | | |
| | スキル科目 | 外国語科目 | - | | |
| | | コミュニケーション科目 | - | | |
| | | コンピュータ科目 | - | | |
| | キャリア支援科目 | - | - | | |
| 専 門 科 目 | 基礎科目 | 2単位 | 4単位 | 58単位 以上 | 84単位以上 |
| | 基幹科目 | - | 12単位 | | |
| | 展開科目 | - | - | | |
| | 関連科目 | - | - | | |
| | ゼミナール | 8単位 | - | | |
| 開設科目全域 | | - | - | 8単位 以上 | 8単位以上 |
| 合計 | | 18単位 | 20単位 | 86単位 以上 | 124単位以上 |